

建築士

おおた

春季号

2024 NO 132



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 公益事業の成果	別府支部	秋吉 俊亮
	大分支部	甲斐 啓大
06 建築物グリーン化促進事業推進委員会報告	グリーン化推進委員会	松井 健児
08 杵築市重伝建地区の土堀修理	別府支部	有田 頼正
09 ヘリテージマネージャーステップアップ講習	日田支部	松岡 亜紀
10 全国女性建築士連絡協議会報告	大分支部	山崎 豊史
12 全国青年委員長会議参加報告	佐伯支部	後藤 好信
14 第8回「おおいた建築セミナー」	竹田支部	阿南 克俊
15 建築セミナーに参加して	玖珠支部	後藤 聖和
	臼杵支部	三重野 豊
17 インフォメーション（支部便り）	中津支部	泥谷 和俊
	日田支部	佐藤 幸司
	別府支部	籠田真一郎
	玖珠支部	瀧石 雅一
22 善光寺地震	廣瀬資料館	園田 大
23 九州国立博物館特別展 「最澄と天台宗のすべて」を訪れて	廣瀬資料館	園田 大
24 我が街の建築士紹介 県央	大分支部	小田部 維
	大分支部	富士持龍河
	別府支部	大野 隆光
	高田支部	末宗 魁人
25 マイワーク 県南	豊後大野支部	後藤 康仁
	佐伯支部	井上 一則
26 マイベストブック 県北	中津支部	中岩 学
	日田支部	後藤慎太郎
	玖珠支部	衛藤 政春
28 近況トピックス	大分支部	淵 智子
30 マーポールの旅先日記	顧問	井上 正文
32 事務局だより	大分県建築士会事務局	



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

アートプラザ

作者：大分支部 板井 利世

令和5年度 公益事業の成果

別府支部

別府支部 秋吉 俊 亮

【折り紙建築教室】

日 時 令和5年10月28日（土）、29日（日）

9：30～15：30

場 所 日出町中央公民館

新型コロナウイルスの影響でここ数年開催できずにいた折り紙建築のワークショップですが、今年度は満を持して、「2023 ひじ産業・文化まつり」の企業展示会場の一画をお借りし、久々に開催しました。



本祭りは、産業祭と文化祭を同時に行うという祭りで、二日間の出展となりました。近くのブースに焼き芋の無料配布を行っているブースがあり、その香りに誘われるように、幅広い世代の方々が折り紙建築教室のブースに足を運んでいただきました。



今年度はワークショップで初めてレーザーカッターを活用し、カットと折り目の線を台紙に予め入れ、刃物を使わないようにしました。参加した子ども

も達は、自分たちの学校の台紙に色やイラストを描きながら楽しそうに折り紙建築を作っていました。

また、大人の方々もカット済みの折り紙建築に興味津々で、たくさんの方に台紙を持って帰っていただきました。



今回の折り紙建築教室は、2日間で約80人参加し、台紙を180枚以上配布でき、多くの人に折り紙建築に触れ、建築に興味をもってもらうことができました。

また、台紙の色塗りなどを通じて、子どもたちの個性や直向きさを感じることもでき、充実したものでした。

今後も地域の建物の台紙を作り、バリエーションを増やしていこうと考えております。その他にも建築に興味を持ってもらえる仕掛けを考え、来年度に向けて工夫をしていきたいと思っております。

「おおいたの推しの建築展」

大分支部 甲斐啓大

場 所：大分市美術館 企画展示室1
 準備期間：2023年5月29日～(第1回コア会議開催)
 設 営：2023年10月16、17日
 会 期：2023年10月20日～11月19日
 撤 収：2023年11月20、21日
 報告書作成：青年部副部長

【はじめに】

大分市・大分市教育委員会と合同で主催をしました当展覧会では、約一ヶ月間で延べ3930名の方が来場し、大盛況で幕を閉じました。大分県建築士会全体で取り組み、各支部のご協力により魅力的な展覧会になったことをここでお礼申し上げます。

【展覧会の背景や目的について】

2023年2月頃、大分市美術館からの提案で、市美にて磯崎新追悼常設展を開催するので大分県建築士会も何か展示をしませんか？と依頼がありました。県本部として依頼を受け、開催地である大分支部を中心に展覧会の準備を行っていきました。

まずは骨子を固める為に5月29日からコア会議を2週間に一度行いました。広くアイデアを集めていながら、磯崎氏の色をどこまで出すか、展示が難しくなりすぎないか、議論を重ねました。最終的には建築士会のファン・一般の方にターゲットを絞りました。また、この展覧会を通じてコロナ禍前の建築士会全体のつながりを再確認したいと考え、各支部の活動のアーカイブ作成・展示を計画しました。

こうした経緯があり、建築関係者だけではなく多くの皆様楽しんで頂ける企画を目指して「推しの建築」をテーマにしました。プロの建築士たちが選んだ推しの建築を通して、磯崎氏の存在と影響力が様々な形で残っている大分の建築を知り、これからの大分のまちづくりの未来を考える展覧会を目指しました。

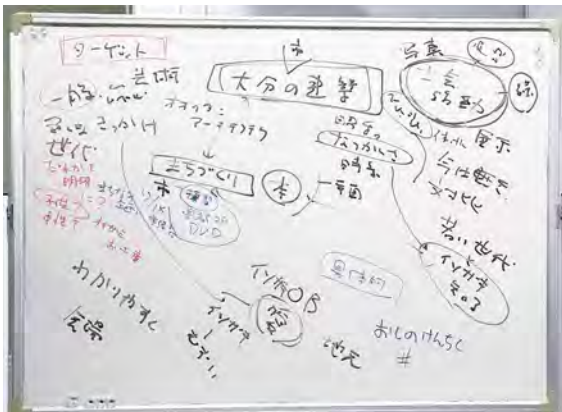
【準備作業について】

8月に大分市との合同会議にて会場構成案を提出。そこから展覧会の材料集め、ビジュアル準備など、



かなりタイトなスケジュールで準備を始めました。

各支部の活動報告や書籍などを大分県建築士会の中で募集をし、短期間にも関わらず皆様のご協力のおかげで大変見ごたえのある資料が集まりました。また展示物に貼る「オシール」なるものを準備し、来場者が推しと思った展示に貼ってもらう参加型の展示スタイルを採用しました。



【展示内容について】

本展示会は、以下の5部構成です。

①オシカツ（推しの建築活動）②オシホン（推しの書籍）③オシケン（推しの建築）④ARTPLAZAけんちくキッズフォトコンテスト作品展⑤磯崎新と大分市
会期中には磯崎氏とつながりのある専門家をお呼びしたトークイベント「磯崎新と私」も企画し、⑤を除いたすべてを建築士会で準備しました。

オシカツでは、各14支部の活動報告やヘリテージ・女性委員の活動資料を頂きパネル化するとともに、模型の展示などで建築士会の活動を紹介しました。



オシホンでは、磯崎氏著書の本72冊・士会員オススメの本70冊・磯崎氏が大分市に寄付した本の内、デジタル化されている約9000冊の書籍タイトルのリストを展示しました。



オシケンでは、県内48カ所の建築物を選定し担当者が写真を撮ってMAPとともに掲載。展示スペースに納まりきれない分はモニターを使い展示をしました。また旧医師会館の解体現場の写真を日本文理大学の島岡成治教授からお借りすることができ、こちらモニターで展示をしました。



ARTPLAZAけんちくキッズとは、9月16日に小

学生を対象とした建築写真撮影会を開催。なんと大分キャノンマテリアル(株)、キャノン(株)に協賛を頂き、一眼レフを参加者全員分お借りしてアートプラザの撮影を行い、子供たち自身が選んだお気に入りの一枚を会場に展示しました。



磯崎新と大分市では貴重な県都コア構想の模型や大分市の昔の写真などが展示されました。



【当日の準備】

二日間の展示作業は業者に入って頂きました。建築士会は交代で展示の指示出しやレイアウト検討を現地で行いました。また別府・白杵・宇佐・大分支部から巨大な活動模型が届き、おかげ様で無事に搬入されました。会員の他にも日本文理大学の学生がお手伝いに駆けつけてくれました。



【会期中の反応】

会場には老若男女問わず色々な方に足を運んで頂きました。

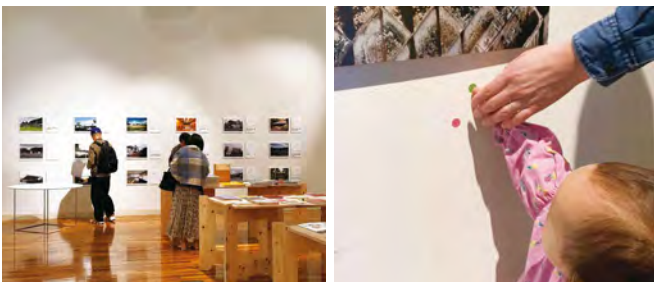


磯崎新と大分市で展示された大分の昔の写真の前にて親子3代で話をされている姿や、オシケンの写真を見て「こんな建築あったんだ知らなかったー」と話す若い方の姿が印象的でした。

オシールが大変好評で、シールの増刷や貼る場所が足りなくなるなどの嬉しい悲鳴が。

改めて振り返りますと、会期中の約一ヶ月間で延べ3,930名が来場され、当初のターゲットだった一般の方に多くご参加頂きました。様々な方が足を運び・語らい・談笑する姿を見て、大分の建築を知り、これからの大分のまちづくりの未来を考える展覧会にすることができたのではないかと思います。また大分県内の各活動を改めて知るとともに、今まで話したことのない方と交流する機会にも恵まれました。大分県の建築文化が根付き、引き継がれ、今後ますます発展することを期待しています。

最後になりますが、仕事をしながら各打合せや企画、準備に奔走されました大分支部の伊藤支部長、コアメンバーの皆様、事務局の皆様、各関係者の皆様、大変お疲れ様でした。



会期中にはトークイベント「磯崎新と私」を行いました。11月5日の第一回では、先述の島岡成治先生にご登壇いただき、磯崎氏の代表作であるアートプラザや旧医師会館についてお話を頂きました。

11月18日の第二回では磯崎氏と深く交流されていた建築家の青木茂氏と大分市美術館館長の菅章氏にご登壇いただき、磯崎氏とのエピソードやアートプラザ保存運動についてお話を頂きました。イベントでは予定した人数を超え、延べ100名以上の方にご参加頂きました。





建築物グリーン化促進事業推進委員会報告

建築物グリーン化促進事業推進委員会 松井健児

令和5年度第2回県民フォーラム

令和6年2月10日（土）臼杵中央公民館 ホールにて本年度第2回目の県民向けフォーラムを当委員会及び大分県主催で開催しました。フォーラムは、一般に向けて建築物のグリーン化について普及・啓発を目的としています。今回のテーマは「住まいから考える わたしたちと地球にやさしい暮らし」とし、集客のために「癒やしカフェ」とコラボしました。



ロビーで開催「癒やしカフェ」

我々は、結構いいことやってるんですが、如何せん知名度が無い（業界団体としては No.1 なのにといつも思いますが）その他、県木連にカプラをお借りして木育コーナーを作りました。



スクラップ&ビルド体験「木育」

また、前回もご協力いただいたアースデイおおい たさんによる、「うちエコ診断」のコーナーも出していただき、更に設備メーカーによる省エネ家電の展示会も行いました。



メーカー展示の様子

パナソニック：LED照明、携帯電源、インターホン、住宅用警報器、ZEH向け商品等

T O T O：節水型洋便器

L I X I L：節水型水栓等

三菱電気：最新省エネ型ルームエアコン

ダイキン：最新省エネ型ルームエアコン及びカラーバリエーションの紹介

柳井電機：IH、エコキュート

の6社に協力を仰ぎました。



メーカー展示の様子

午前10時の開催前より、臼杵支部の全面協力のもと準備をすすめました。





席数は、150

午後1時30分より、フォーラム本番の開始です。



県 土木建築部長の来賓挨拶でスタート

今回のメインは、住宅技術評論家 南雄三氏による基調講演。テーマは、「子ども達の幸せな未来とお年寄りの健康長寿を求めて」これまで、昨年度より2回のフォーラムの講演、技術者研修会での3回の講演を聴いて経験と実績に裏付けられた各先生方の話は分かりやすく説得力があるなーと感心します。様々な資料をかき集めてプレゼン資料等作っても、何か足りない。



南雄三氏による基調講演

南さんの自宅は、大正時代の古い住宅を環境共生住宅に再生されているそうで、築100年を越えている

そうです。また、工務店業界のご意見番として「省エネ・エコハウス」の学術的な研究成果を全国に伝えており、今回大分の地に来て頂きました。内容については、県建築住宅課のホームページ経由でYouTube 配信しておりますので、是非ご覧ください。

第2部は、小学生による住まいの省エネに関する発表会を行いました。事前に児童クラブを回り手作りの省エネ資料を作成し、勉強会をおこない、子ども達に興味を持ってもらうことから始めました。



小3～小6まで市内4校の子ども達

これをきっかけに臼杵支部では、課外講師として来年度より「住まいの省エネ」について本格的に活動を考えているそうです。



引き続き南さんと子ども達の座談会をおこないました。

フォーラムは、来年も続きます。次回は、一般客の案内を県内全会員の協力を得て更に盛大に行えればと思います。

目指せ「カーボンニュートラル！」

〔R4 H. M. ステップアップ講習〕

杵築市重伝建地区の土塀修理

別府支部 有田 頼正

私の住む杵築市では、平成29年（2017）11月に武家町として、北台と南台の一部が「北台南台重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

選定に至る経過としては、平成26年（2014）より各方面の先生方、建築士会の先輩諸氏、ヘリテージマネージャー、先進地であります日田の方々にご協力・ご指導いただき、選定に向け当市の教育委員会とともに、全域の調査を行いました。そして調査結果の成果物として「伝統的建造物群保存対策報告書」作成・提出を経て上記の選定に至りました。

選定以降現在まで、保存地区内における建造物の修理は主なものでは、建築物2件、工作物（土塀）4件となっております。

言葉の説明になりますが、保存地区内の「修理」

とは、「復原」のための工事のことで、「復原」はその建造物の痕跡を調査し本来の姿に戻すことを言います。選定後最初の修理物件は、土塀でした。建物ならある程度は理解できるとは思っていましたが、土塀となると当然初めてのことで、何もかも手探り状態、土塀に関する資料も知る限りでは、ほとんど見当たりませんでした。あったとしても、この杵築の土塀の工法・仕様には当てはまると思えません。今まで修理した杵築市内の土塀4件の中でもそれぞれ工法に微妙な違いが見て取れました。当然修理前の調査が一番大事になるのですが、大々的に壊して調査するわけにもいきませんので、部分的な解体調査のち設計・設計書作成・予算確定となります。そして、工事発注とともに解体しながら調査を進めてゆく過程で、事前には分からなかった事も発見されたりして、当然のことながら工事費に影響してきます。こういった矛盾も孕んだうえでの修理工事となることも覚悟しなければなりません。事前及び工事中調査については職人さん（70歳過ぎの左官）たちの経験や知識が大変参考になりましたし、このような職人さんの知恵が次世代の職人さんに受け継がれるかどうか、危惧されるところです。

※写真は、今となっては見ることのできない、修理前の景色です。上が最初の土塀修理前、下が4件目の土塀修理前ですが、これはこれで風情のある景色ではあるのですが…



H.M. 現場講習会

〔R4 H. M. ステップアップ講習〕

ヘリテージマネージャーステップアップ講習に参加して

日田支部 松岡 亜紀

令和4年度のHMステップアップ講習に参加しました。その中で日田の研修をとということになり、座学と現場視察を行いました。重文の草野本家と行徳家の修理工事が終わったところと、国史跡の廣瀬家の修理工事が行われているところでしたので、ちょうどよいタイミングでの見学が出来たと思います。

最初に座学でY.O設計の養父氏より文化財保存修理の基本的考え方から復原の要領、廣瀬淡窓旧宅の保存整備事業についての概要説明があり、その後修理現場へ。本物の伝統を守る会（監理）と現場代理人の出迎えを受け、内部の見学をしました。今までもHM講習で何度か見学を行い、解体から施工中と見てきている方も今回は仕上の段階に入ってきており、何となく修理過程を把握して頂けたように感じました。こちらも耐震補強を行っています。

午後からは再度座学で草野本家について（公財）文化財建造物保存技術協会の比嘉氏より説明がありました。今回の修理は建築年代も違う複数の棟ごとに修理方針の異なる工事で、それに合わせて耐震診断も行い、補強も行ったとのこと。完成した現場も見学させていただきました。

最後は行徳家へ。ここも文建協の比嘉氏より説明を頂きました。今回は耐震補強と茅の葺き替えの工事とのことでした。

廣瀬家と草野本家の隠宅蔵の梁に土巻きの箇所があるのですが、廣瀬家は竈上の梁に土を巻いていま

す。防火のためと考えられますが、草野本家の隠宅蔵にもありました。火を使うことがあった？それとも他の用途があったのでしょうか？

最近では文化財の耐震化など防災が課題となっています。安全第一であることはもちろんですが、建物



の価値を守り、継承していくことも必要であると考えます。

建物を守る、地域を守る、文化を守る。修理工事には大変な労力と工期が掛かります。個人負担だけではなかなか賄えるものでもなく、綺麗ごとだけでは成しえませんが、保存と活用、安全のバランスがジレンマとなっていると思います。

普段でも文化財修理に携わっておりますが、まだまだ勉強しなければならないと痛感しています。今後もHM講習等があったら参加したいと思っています。



行徳家 比嘉氏より説明



H.M. 現場講習会

令和5年 第32回全国女性建築士連絡協議会に参加して

大支部 山崎 豊史

令和5年7月29日30日の2日間、石川県金沢市を舞台に約300名が参加し、女性建築士連絡協議会が開催されました。大分から約7時間の移動、気温35度以上が続く炎天下に加え、金沢特有の湿気との戦い。皆で金沢駅に降り立った際、モワットした独特な気候は大分では味わえません。

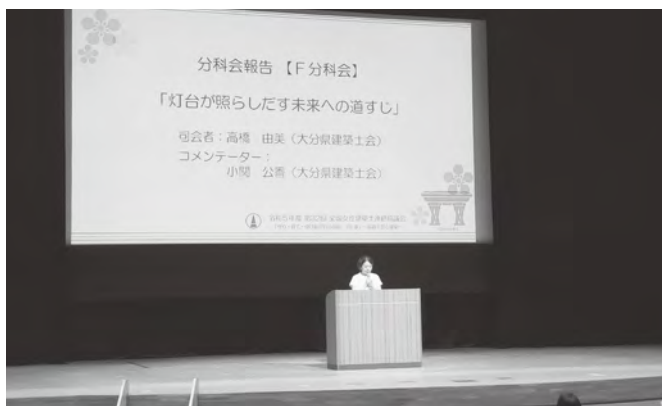


メイン会場 金沢市文化ホール

初日の講演会では金沢駅舎建設を通じて伝統工芸文化を積極的に取り入れた経緯を紹介。

全国でも稀な36品目もの伝統的地場産品がある石川県。駅のコンコースの24柱には工芸作品が設置されるなど、伝統工芸による空間づくりを行い、美術館のような駅を目指したとのこと。

全国的にもひととき魅力的で美しい金沢駅。街を歩いて実感しましたが高品質なモノづくりを通じて産業・文化活動が盛んであり、日々の暮らしには常に江戸期加賀前田藩からによる文化風土の精神が根付いているのだと感銘しました。また、夜は九州ブロックで懇親会があり、各県男性の参加も多く、楽しく交流を深めました。



F分科会会場

翌日は6つの分科会が開催されました。その一つ我々が大分支部小関公香さんによる「灯台が照らしたす未来への道すじ」の発表です。

主役は大分県建築士会の活躍も大きく令和4年6月29日に国の登録有形文化財に登録された佐賀関にある関埼（せきさき）灯台。



小関公香さんによる発表

登録までの経緯や稀有な鉄造で120年以上の歴史を持つ灯台の生い立ちや詳細解剖、海岸からの資材搬入など施工時の苦勞、文化財登録記念によるイベントの実施や他県の灯台の活用事例などを説明されました。

今後は関埼灯台と周辺環境との新たな連携が必要であり、活性化のアイデアを我々建築士も提供しなければならないと感じました。また、陸の孤島でありながら独自の民俗を紹介したミュージアムや観光施設等で観光化が急速に進む対岸の佐田岬半島エリアを意識し、灯台同志を通じての融合も必要かと思われます。

引き続きのエクスカーションは「美しい図書館」として話題の石川県立図書館を見学。



石川県立図書館 外観

本のページをめくったような外観や館内中央の巨大な円形吹抜の周りを3層のリングフロアで構成する話題の図書館です。

大きな楕円の吹抜を見下ろすように30万冊の本と500の閲覧席が段々に並んで構成された「本と学習空間の円形劇場」の設えに圧倒されました。



石川県立図書館 内観

特定の部屋以外は「おしゃべりのできる図書館」という従来の図書館から殻を破ったコンセプトで加賀五彩の色をサインに使用するなど粋な演出。円形吹抜を見下ろし、少し賑やかな空間での閲覧や学習は集中、休息の緩急が可能で金沢圏内の学生を中心に席の取り合いのような賑わいでした。



石川県立図書館 内観



五箇山相倉合掌造り集落

せっかく北陸方面に来たのだからと日本三大秘境である岐阜県の白川郷や富山県の五箇山の秘境集落巡りや王道ではありませんが21世紀美術館、鈴木大拙館などの名建築にも触れ、短期間で北陸方面



鈴木大拙館

の多様な史跡、建築巡りも堪能出来ました。

また、参加した面々が連日魅了されたのが観光客のいない夜のひがし茶屋街。茶屋が連なる狭く薄暗い路地にはBarが所々点在し、日常では味わえない異空間の中でのお酒を楽しみました。

最後に令和6年1月1日に発生した能登半島地震において被災された方々に心よりお見舞いを申し上げ、1日でも早い通常生活が戻ることを祈ると共に、率先して何か出来ることを見つけ我々建築士も行動を起こしたいと思います。



夜のひがし茶屋街

令和4年度 全国青年委員長会議参加報告

佐伯支部 後藤好信

真のリーダーを目指せ！

～新たな時代に立ち向かうリーダーシップ研修～

と き：2023年3月4～5日

ところ：東京ビッグサイト

参加者：後藤好信

2023年3月4、5日で行われた令和4年度全国青年委員長会議に出席したため報告させていただきますと思います。

令和4年度も前年に引き続き東京ビッグサイトでの開催でした。前回は仕事の関係上現地での参加ができず、WEBでの参加だったため、現地へ行くのは初めての参加。前日入りし、その日は大学時代過ごした横浜へ行き久しぶりの旧友との再会を堪能しました。

3月4日初日はお昼からの集合だったため横浜から新橋へ向かいそこからゆりかもめにて東京ビッグサイトへ向かいました。



東京ビッグサイトでは次の日に東京マラソンも開催予定だったため多くの方でにぎわっていました。全国青年委員長会議ではスーツでの参加が必須だったため、着慣れないスーツ姿で緊張しつつ会場へ到着。会場で受付を済ませると、参加者は各グループに班分けされておりグループの方と名刺交換を済ませ着席しました。



全国青年委員長会議が始まると日本建築士会連合会青年委員長山本道善氏から挨拶があり、建築士会の綱領について説明がありました。この綱領には建築士会の全てが詰まっているためこの綱領を覚え意識して活動してほしいと話がありました。是非とも綱領を確認していただき日々の活動の中で意識していただけたらと思います。

建築士会綱領

1. われらの建築は 人類の幸福のため 最良の芸術たるべし
2. われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし
3. わが建築士会は 会員の向上のため 最善の団結たるべし

そして、いよいよ会議がスタート。今回の会議テーマは「強い組織を作る！！」ことについて見識を深めていきます。人材育成コンサルタント、アチーブメント(株)の高木講師のもと二日間にわたり研修が行われました。講義、ワークショップを織り交ぜながらみっちり二日間。とても刺激的な研修であつという間に二日が過ぎていきました。

研修の中で言われていたのが、リーダーシップは決して、カリスマ性のある人、引っ張っていく人、前で先導する人だけのものではない。リーダーシッ

プは目標達成に向けて最大限のプラスの言葉や態度をとり、周囲に良い影響を与えることである。だからこそ、誰でもリーダーシップを発揮することができる。とおっしゃっていました。



そのために必要な習慣として

- ①傾聴する
- ②支援する
- ③励ます
- ④尊敬する
- ⑤信頼する
- ⑥受容する
- ⑦意見の違いについて交渉する

習慣を身につけることが必要だと教えていただきました。

少しずつできることからでも意識していき、リーダーシップを各々が発揮できるとより良い建築士会ができていくと思うので是非意識して日々の活動に活かしていただけたいと思います。

最後にこの令和4年度 全国青年委員長会議に参加して感じたのは、講義やワークショップで学んだことも大切ですが、このタイミングで全国から集まった全国の青年委員長の方たちとつながりができ、連合会を含め60名の方たちとつながり共に学べた時間はとても有意義なものでした。自分の今後の建築士人生の中で生きてくると思います。



また今年度も全国青年委員長会議はあります。次期青年委員長にはたくさん吸収してきていただけたらと思います。



第8回 おおいた建築セミナー

竹田支部 阿南 克 俊

12月2日に開催された第8回「おおいた建築セミナー」にはたくさんの方の参加をいただき大変ありがとうございました。誌面を借りてお礼申し上げます。

支部青年委員長に就いて以降、全く会議に参加できておらず、たまたまWEB参加した2023年1月の青年女性委員会で「竹田（県南）開催」と指名され、「持ち帰って支部で協議します」という話がいつの間にか「決定」となっていたような覚えがあります。会議を重ねるごとにToDoが増え、これまで開催してきた皆さんの苦労を実感したところです。

メイン会場は城下町交流プラザ。設計は隈研吾建築都市設計事務所です。参加された皆さんが感じたことかもしれませんが、「この規模なら木造でいけるよね」とか、「梁の断面大きいよね」とか、セミナー開始前から多くの質疑をいただきました。様々な経緯があって完成した施設だということです。



基調講演は西田稔彦さん（株式会社地域科学研究所）のエリアリノベーションについて。（竹田市のように）自主財源が乏しい、公共施設が多い、人口減少といった様々な地域課題にどう向き合い、どう取り組んでいくのか。その中で建築士が果たす役割・果たすべき役割について参加者の皆さんそれぞれが感じたのではないのでしょうか。

クロストークでは、伊藤憲吾さん（伊藤憲吾建築設計事務所）と河野功寛さん（佐伯市役所）が加わり、船頭町での取り組み事例などを紹介していただきました。まちづくりには「よそ者、若者、バカ者」が必要と言われます。ここでのバカ者とは、旧

来の価値観の枠組みからはみ出た人のことです。建築は法令などに縛られることが多い分野ですが、まちづくりの「バカ者」に最も近い存在は建築士なの



ではないかと改めて感じた次第です。

セミナーの最後はまち歩きです。3班に別れて竹田の町へ繰り出しました。観光ボランティア

ガイドと巡るまち歩きコースでは、大蔵清水湯、瀧廉太郎記念館、由学館、旧竹田荘、武家屋敷通り、広瀬神社、市立図書館などを巡りました。90分では時間が足りないほど、非常にボリュームのある内容でした。基調講演で竹田市の危機的状況を知られてしまったため、今回のまち歩きが「やっぱり竹田市っていいよね」と中和剤の役割を果たしてくれたのであれば幸いです。

建築談議では支部・世代を超えた交流ができました。経済活動にもご協力いただき大変ありがとうございました。

後日、「飲み食いせんで、ずっと話よったわぁ」と某店の方から報告がありました。

まち歩きの際にお配りした「城下町まちめぐり手形」はお使いいただけただけでしょうか。有効期限は2月29日までです。この誌面が手元に届く頃には有効期限が過ぎているかもしれませんが、是非また竹田市にお越しください。

最後になりましたが、今回のセミナー開催にあたりご尽力いただいたすべての皆様に心から感謝いたします。



建築セミナーin竹田に参加して

玖珠支部 後藤聖和

令和5年12月2日（土）に竹田市の「城下町交流プラザ」で行われた建築セミナーに参加しました。

セミナー前半では竹田市出身の西田稔彦さん（株式会社地域科学研究所）の基調講演や伊藤憲吾さん（伊藤憲吾建築設計事務所）、河野功寛さん（佐伯市役所）を交えてエリアリノベーションについてのクロスセッショントークが行われました。基調講演では西田さんから公的不動産等を活用し地域（エリア）の価値を高めていく方法について「公的不動産や市街地の空き家・空き地等をいかに活用し地域活性化につなげていけるかを考えたときに、地域の有識者である建築士が非常に重要な存在となるが、建築士に足りないことがある。建築士は地域の中であって点としての建築物を生み出すプロではあるが点で終わっていることが多い。地域全体の不動産価値を上げるということを意識して活動すればまちの価値が一体的に上がり、そこに新しいサービスや仕事生まれ地域（エリア＝面）が活性化する。結果的に資産価値が向上し自治体の税収が増え、まちの経営力が上がる。建築士にはぜひ不動産の知識もインストールして欲しい。」との提起を受けました。さらにクロスセッショントークでは、市職員ながら私費で空き家を購入し事業者に貸出しエリアブランディングを図ろうとしている河野さんの体験談等を拝聴し、同じ自治体職員という立場ながら私が考えもつかなかったような活動をされていることを目の当たりにし感銘を受けました。



また、後半の分科会では「観光ガイドさんと巡る城下町コース」に参加しました。一般の観光客も利用できる観光ガイドさんに案内していただきましたが、今回は建築士会員向けの観光ガイドということで城下町内の建物巡りに特化したコース設定となっており、城下町交流プラザ→豊音寺山門→由学館→竹田創生館→武家屋敷通り→竹田市立図書館など岡藩城下町の新旧建築物を探訪しました。道沿いには新しいショップ・カフェ等もあり、大人のゆったり旅にぴったりな街だと感じました。



私自身今回が建築士会入会后初めての建築セミナーへの参加でしたが、夜の懇親会も含めて非常に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。（正直もっと早くから参加すればよかったと後悔しております。）



さて、次回は私の地元玖珠町・九重町での開催となります。現在玖珠支部一丸となって「来てよかったな」と思っただけのような企画を検討していますので、是非「建築セミナーinくす」へお越しください。皆様のご参加お待ちしております。

建築セミナー参加報告

臼杵支部 三重野 豊

12月2日の建築セミナーin竹田に行ってきました！

当日スタッフとして参加。午前中に会場の竹田市中心下町交流プラザに到着。ここは、隈研吾さん設計の、焼杉と竹を使って作られた市民交流施設です。

他支部の方々と会場設営後は臼杵支部の会員と合流。

竹田の丸福にて昼食。各自唐揚げ定食やらチキン南蛮定食を堪能。宿泊する会員は早くもビールに手を付けていました、早い（笑）。

昼を過ぎた辺りから行列ができるほどの人気店、早めに来て正解でした。皆さんも竹田に寄った際は是非！



13時から受付した後は60人ほどが会場に入り、株式会社地域科学研究所・西田稔彦（にしだ としひこ）氏による基調講演から。



紹介しますと竹田市出身で入社後に公共イノベーション&サポート事業部に所属し地域の価値創造

を図る為、さまざまなプロジェクトに取り組んでいらっしゃる方。

その後は伊藤憲吾建築設計事務所・伊藤憲吾氏、佐伯市役所の河野功寛氏を交えつつ、講演が続きました。

個人的には竹田は近年まで下水道がなく生活排水をそのまま側溝から川へ流していたことに驚かされたのと空き地でコーヒー販売や秘密基地作りなどのイベントを開催、その後はコーヒー店を竹田に構え、今も営業されているとのこと。素晴らしい。

また空き家が増えつつあるのは寂しく、どうしていかかが課題なのはどこも一緒なのだなあとしみじみ思いました。

講演終了後は3つのコースに分かれ、分科会（まち歩き）。自分ともう一人は観光ガイドさんと巡る城下町コース…に参加しましたが自分は日帰り、



車を出してくれた方も予定が早まったので、早めに帰ることとなり、まち歩きはあまり書くネタがありません…トホホ。

宿泊組は大いに竹田の夜の街歩きを堪能したことでしょう…笑。お疲れさまでした。



耶馬溪公民館構造見学会

中津支部 泥谷 和俊

中津支部では、令和5年度より建設工事中の耶馬溪公民館の構造見学会を中津支部会員対象に行いました。見学会開催については、市内で大規模な木造の工事現場を見れたらいいなあ、とのことで開催するはこびとなりました。



建て替え前の公民館はもともと2棟あり、老朽化、防災時の避難施設などの機能を果たせていない状況などから建て替えとなりました。現在は、2棟あるうちの1棟を解体し、造成を行った場所に新たに建築しており、残りの1棟で公民館の運営している状況で、最終的には1棟に集約し運営する予定です。

この耶馬溪公民館は、地域コミュニティーの拠点として、生涯学習の場、サークル活動やボランティア活動、市民健康相談、世代を超えた人と人とのふれあいの場として、地域住民の日常生活に最も身近な公共施設として役割を担っています。



新しい公民館は開放的で柔軟性のある施設になるよう、集会室、図書館、フリースペース、研修室は化粧のトラスを出し、図書館とフリースペースの壁は、取り外せるよう可動式の壁とし将来の利用形態の自由度を高めています。

見学会開催時の工程は軸組工事中で、大工さんが現場内で小屋組のトラスを組み上げる作業を行っていました。1本のトラスを組むのに大工さんが4、5人掛かりで丁寧に慎重に作業を行ってくれていました。



今回の現場の見どころは、全長25m、高さ1mを超える24本のトラスです。

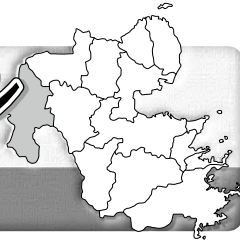
プレカット工場で上弦材、下弦材を加工し、現地にてラチス材でトラスを組み上げ、それをホームコネクターで固定していきます。それらのトラスが小屋の上すべて乗った姿は圧巻です。

見学会では10本程度のトラスが乗った状態でしたが、それでも現地で皆さん興味津々に見ていました。

完成後はこれらのトラスがホール、集会室、図書館、研修室、フリースペースから屋外へとつながり、開放的な空間となります。



構造見学会の開催で、見学に来られた中津支部の方々にも少しでも有意義な時間になっていれればと思います。



第14回日田の木と暮らしのフェア

日田支部 佐藤 幸司

令和5年12月3日にパトリア日田で日田地区林業・木材産業活性化協議会主催の「第14回日田の木と暮らしのフェア」に大分県建築士会日田支部で「折り紙建築」を出展させていただきました。



フェアの目的は日田市の基幹産業である林業・木材産業を多くの市民や市外の方にPRするため、木材製品の展示やワークショップ、地場産物の即売、木育コーナー、食のブース等の出店を通して、日田の林業や木材製品等を来て・見て・触れて・知ってもらい、木の良さや地場産業の魅力を感じてもらうことを目的としたイベントです。



建築士会としても「建築」にとって「木」とは重要な関係性があり、川上を知ることで川下の活用や新たな発見が生まれることから毎年積極的に出展させていただいております。

一昨年までは教会（ミコノス）やピラミッド、うみたまごといった建物を中心に行っておりましたが、時期的にクリスマス前ということもあり、折り紙建築にデコレーションを加えたクリスマスカードやクリスマスツリーを色紙で作ってデコレーションする形へと来客者のニーズに合わせた折り紙建築に取り組みました。



会員の中からは直接建築と関係あるのか??という意見もありましたが、私達建築士は平面（2次元）を立面（3次元）にする仕事であり、その楽しさや面白さを多くの子ども達をはじめ広く知ってもらい入口となればと思い、日田支部会員で取り組みました。



会場には多くの子供連れの家族が来られ、イベント終了ギリギリまで時間を忘れ、折り紙建築やクリスマスツリーを作成しており、物を作る楽しさや2次元が3次元になる面白さを感じていただいたのではないかと考えております。来年以降も会員の色々なアイデアを基に来客者が楽しめる出展ができるよう取り組んでまいりたいと考えております。



フォーラム『襟江亭』を未来につなぐ — 唯一現存する殿様の風待ち茶屋 —

別府支部 籠田 真一郎

襟江亭は1667年、日出藩三代藩主の木下延長公が建設した木造平屋建ての建造物で、大神深江港から参勤交代に出る際の待機所、休憩所、対外的な社交場として使われていた建物です。

これまで、別府支部では約20年前からこの襟江亭の保存活動に関わってきましたが、今回、保存の機運を高めるためにフォーラムを開催しました。

令和6年2月3日（土）14時から日出町中央公民館のホールで開催し、予想を大きく上回る約150名の参加をいただき大盛況となりました。改めて襟江亭に対する多くの皆さんの関心が高いことを認識させられました。建築士会の会員の多くの皆さんもご参加いただき大変ありがとうございました。



フォーラムは2名の先生に講演をしていただきました。まずはじめに日出町歴史資料館館長の平井義人氏に「襟江亭のこれまでとこれから」と題して講演いただきました。襟江亭の歴史的な価値について詳しく説明いただき、これからの保存や活用についてのお話を伺いました。

次に、Y.O設計代表の養父信義氏に「襟江亭の調

査を通じて」と題して、調査によりわかった襟江亭の建築的な歴史などを丁寧に説明いただきました。

お二人の講演を聞かせていただき、改めて襟江亭の歴史的な価値や本当に貴重なものということを確認することができました。

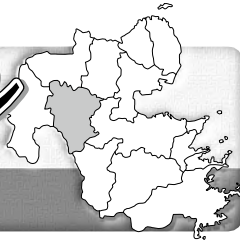
また、フォーラムを通して、保存に向けて取り組みをしていくことについて、参加者の皆さんのご賛同をいただきました。



今回のフォーラムにあわせて、襟江亭の模型を別府支部で作成し、披露しました。幸（孝）さん、栂田さんのお二人を中心に、大変レベルの高い模型が完成しました。3月に予定している「建築士の模型展」でもお披露目する予定ですので、どうぞ多くの方にご覧になっていただければと思います。



別府支部としても引き続きこういった活動を続け、襟江亭の保存が実現するよう取り組んでいきたいと考えていますので、皆さんのご支援、ご協力をお願いしたいと思います。



別府支部研修旅行に参加して

玖珠支部 瀧石 雅一

去年12月の建築セミナーの懇親会の席にて別府支部の方々より今回の支部研修旅行のありがたいお誘いを頂きました。

私は神戸へ行くのは初めてでしたので即決にて返事をしました。

初日は移動と懇親会でした。

飛行機や電車のチケットがスマホ全てでやり取り出来、非常に便利だと痛感。



懇親会の席では、たまたま向かいで食事をしていた家族連れが誕生日だったようでケーキがテーブルに運ばれていたのので、歌を歌い、手を叩いて喜びを共有する一幕もありましたが、神戸の夜とお酒を満喫出来たのではないかと思います。



2日目は、まず最初に北野異人館。

登録有形文化財をスタバが利用。

この活用法は竹田のセミナーにて日高さん（中津支部）と後藤さん（玖珠支部）と昼食をとったアレだと思いつつ、有効な資産の使い方だと感じた。

そして全ての道が坂なんですよ。傾斜のきつい坂でした。



次は兵庫県立美術館。



安藤忠雄の作品と云えばRC造の代名詞ですが、シンボルオブジェの美かえるの下の外装には鋼板が目いっぱい使われていて新鮮でした。





ここで1つ目の青いリンゴ

自由散策は2つのグループに別れての行動でしたが、ここは偶然にも一緒になりました。

安藤忠雄の数々の作品の模型・図面・スケッチ・事務所の再現とワクワクする空間でした。

ヨドコウ迎賓館は雛人形展が同時開催されていてまさかの完全予約制でしたが、何とか入館出来るというミラクル。

方位、地形を上手く利用した風の通る避暑地として最適な別荘でしたが、さすがにフランク・ロイド・ライトも日本の梅雨を考慮してなくて訂正された箇所があるとの事でした。気になる方は是非現地を確認を……。ただ迷路みたいな建物と入り口がやけに低いのが印象に残りました。

昼食は梅田駅付近のラーメン神座。

ラーメンなのにちゃんぽん並みの野菜の多さ、量の多さにびっくり 大盛りはかなりキツかったらしい。

まだまだ巡った建築物はあるのですが、この辺り

で終わらせていただきます。

ただ風見鶏の館、横尾忠則現代美術館も改修中で見学出来なかったのが残念で残念で。

今回の旅行は別府、宇佐、玖珠の偶然にも県北エリアの支部交流となる研修旅行でした。

自由奔放なお酒好きな方々（思い当たる節のある方々申し訳ありません）だと思っていましたが、仕事で普段目にする建築模型に関しては酔いも醒めたのかと思うくらい、凄く熱く語る姿と知識の数々に心底カッコイイなあと思いました。今後先輩方の見方が確実に変わります。

建築士（建築）と云う業務から完全に離れて、もう数年経過してしまいましたが、ひたすら20kmも徒歩してまで建築物巡りをする自分や仲間達を見ることが出来たのが、今回の他支部交流の収穫だったんだなあと思っております。

最後にこの他支部交流旅行の機会をあたえて頂いたことに心から感謝しています。

弘化4年(1847)信州(長野県)善光寺地震

—災害から学ぶこと—

廣瀬資料館 園田 大

信州善光寺地震は弘化四年三月二四日に発生しました。この年は全国から善光寺にお参りに来たよう
です。

廣瀬資料館には善光寺地震の史料が数点あります
ので、災害の歴史を物語る貴重な資料を紹介します。

一、善光寺地震の瓦版

この時の地震は三月二四日と四月二四日が大きな
ものでした。

資料館には善光寺地震の瓦版が二枚あります。

この瓦版には随所に朱色があり、この箇所が火事
を表しています。中央の山からは土砂崩れが起きて
います。

第一回目の三月二四日の地震は、善光寺と稲荷山
に火事が、次に作成不明の瓦版は全体に火事が及ん
でいます。後者の方が第二回目の四月二四日の地震
のものです。

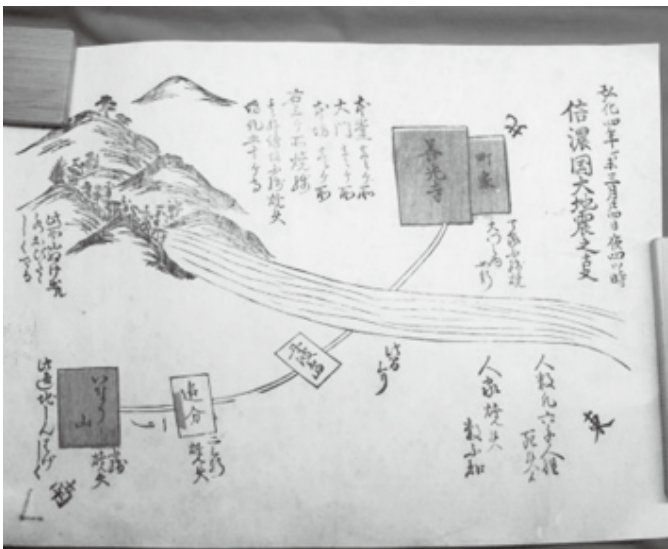
二、廣瀬旭荘の日記

廣瀬旭荘の日記は幕末の社会を知る中で貴重な史
料です。ここでは旭荘の日記から地震の状況を見て
いきます。この時、旭荘は大阪に滞在していました。

三月二四日は大阪も揺れ、四月五日に地震発生場
所が善光寺と知ります。その後、四月二四日に第二
回目の地震が発生し、大阪では信州地震のうわさが
広がります。

四月二六日には信州在住の木内清兵衛が旭荘のも
とを来訪し、ここで地震の内容が具体的にわかりま
す。翌日、旭荘は木内清兵衛の情報を手紙として纏
め、淡窓・久兵衛・三右衛門宛に送付します。この
日に廣瀬家にも信州山崩れの情報が伝わります。

旭荘の手紙が淡窓のもとに到着するのは五月一三
日でした。淡窓は驚愕したようで、日記の中の随所
に地震のことが記されています。



1回目の地震



2回目の地震

九州国立博物館特別展「最澄と天台宗のすべて」を訪れて

廣瀬資料館 園田 大

2022年3月、コロナ禍になって初めて九州国立博物館を訪れました。この時の特別展は「最澄と天台宗のすべて」で、入館前は「九州と関係がないのではないか、何か面白い展示があるかな。」ぐらいの感じでした。しかし、入館して見ているうちに、天台宗（てんだいしゅう）への考え方が大きく変わりました。

■博物館へ

コロナ禍のため入館者も少なく、駐車場にもバスがなかったので、スムーズに見学できると思っていました。ところが館内に踏み込むと、お客さんの多さに圧倒されました。それもそのはずで、今回の展示は東京・九州・京都の各国立博物館による巡廻特別展示展だったのです。

■展示

今回の展示は、2021年が最澄（さいちょう・七六七～八二二）の一二〇〇年忌であったことから、比叡山延暦寺と国立博物館が共同して企画しており、普段は見られないものが数多く展示されていました。

展示のストーリーは「①中国の天台宗」、「②最澄と天台宗」、「③最澄以降の天台宗」、「現在の天台宗」となっており、その中でも圧倒されたのが、2016年から10年かけて工事を行った根本中堂（こんぽんちゅうどう）の展示でした。また普段は拝観できないお寺の秘宝も見ることができました。



その秘宝の展示の対象も、地方にある天台宗のお寺も含めてのもので、見応えがありました。見学後は、いつも立ち寄るミュージアムショップへ。図録（ずろく）、葉書（はがき）、御朱印帳（ごしゅいんちょう）を購入しました。なかでも御朱印帳は今回の展示のために創られたもので、表紙は比叡山杉を使っており、触ると木の温もりを感じました。



■御朱印調査

今回購入した御朱印帳を基に筑後川流域とその周辺の寺社仏閣の調査を始めています。その調査方法は神社の建立されている現地に赴いて御朱印を頂戴し、寺社の建物とその周辺を撮影します。この調査を始めて二年目になり、現地に赴いて感じた共通点は、どの寺院も山に位置し、徒歩だと非常に険しい処にあることでした。

訪れた天台宗寺院について、歴史の観点を踏まえて紹介できたらと思います。

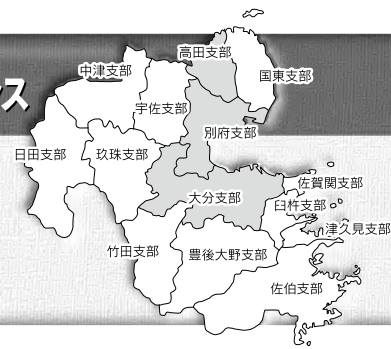
違った視点にはなるとは思いますが、調査の成果を報告します。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 小田部 維
- ★生年 平成3年
- ★勤務先 株式会社 大有設計
- ★趣味 妻との食べ歩き、映画、旅行
- ★将来の夢、モットー等

株式会社大有設計 建築設計部の小田部と申します。
主に国の建物の設計業務を行い、建築士会では一級建築士取得後より主体的に活動に参加しております。
青年部造形班に所属し、昨年は建築キッズボランティアガイドや折り紙建築など多くの活動に携わり、幅広い年代の方との交流を深めることができました。
今年度は育児との両立を図りながら、子どもとの交流を通じ次世代の建築士発掘を目標に活動したいと考えております。特に建築キッズボランティアガイドは、二期生の育成が始まるので、造形班のメンバーや一期生と協力して進められればと思います。よろしくお願ひいたします。



小田部 維(大分支部)

- ★氏名 富士持 龍河
- ★生年 平成14年
- ★勤務先 大分市役所
- ★趣味 ゴルフ、野球
- ★将来の夢、モットー等

大分市土木建築部建築課の富士持と申します。
現在、市有施設工事の設計・監理の業務を担当しており、市役所に勤務して1年目になります。建築資材の種類や納まり、施工方法など、知識の至らない点が多々ありますが、職場の方々をはじめ施工業者さんなどから日々多くのことを学んでいます。また、一級建築士の資格取得も目指しており、休日の勉強時間確保にも努めていけるように頑張ります。これからも学ぶ姿勢を忘れずに大分市のまちづくりに貢献できるように頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



富士持 龍河(大分支部)

- ★氏名 大野 隆光
- ★生年 昭和48年
- ★勤務先 (株)後藤工務店
- ★趣味 お酒
- ★将来の夢、モットー等

令和5年度より本会に入会いたしました。本会を通じてたくさんの方と繋がりを作り、スキルや知識を鍛え高め、建築士として磨きをかけたいです。これから建築士会の活動に、積極的に参加していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。楽しい飲みのお誘いもお待ちしています。



大野 隆光(別府支部)

- ★氏名 末宗 魁人
- ★生年 平成10年生まれ
- ★勤務先 (株)中村建材店
- ★趣味 アニメ鑑賞・ゲーム・読書
- ★将来の夢、モットー等

・豊後高田市の中村建材店に勤務
・入社して、2024年の5月で3年が経過
・2023年12月に入会後、翌年の2月より高田支部の事務局員をすることになる。
・業務内容としては申請関係(補助金や役所へ提出する申請書関係の作成)などを行う。
・建設に関する知識や経験が浅く未熟ではあるが、日々の業務や建築士会の活動を通して学んでいき、建築士を目指して頑張りたい。



末宗 魁人(高田支部)

MY WORK

- ★建物名称 豊後大野市消防南分署
- ★建築場所 豊後大野市緒方町
- ★建築主 豊後大野市
- ★用途 消防分署
- ★床面積 399.95㎡
- ★構造 鉄骨造
- ★設計者 株式会社後藤建築設計事務所
- ★施工者 株式会社宮成工務店
- ★竣工 令和5年4月
- ★設計趣旨

本建物は豊後大野市南地区を統括する消防分署である。外壁は他分署と合わせた板金仕上げとし、本計画地が市独自の景観条例に位置する為、落ち着いた色味の構成とした。正面入口が南面であることから軒を伸ばし、なおかつ消防分署ということで町屋の“うだつ”を模した袖壁を取り入れた外観とした。

消防車や救急車を駐車する大きな車庫へ即

座に向かえるように、事務室等の執務ゾーンや仮眠室等の休憩ゾーンから出動準備室を経由して車庫へ向かう平面計画としている。

設備に関しても、近い将来予想される大規模災害にも即時対応できるよう、通信関係も含めた装備の一新を図った。



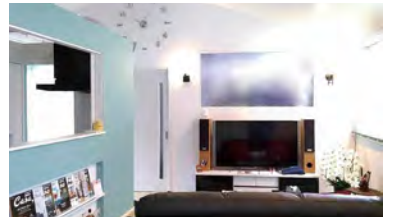
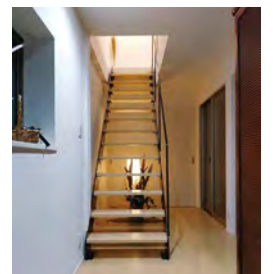
- ★建物名称 自邸 (既存倉庫→住宅へのリノベーション)
- ★竣工 令和4年2月
- ★建築場所 大分県佐伯市
- ★用途 個人住宅
- ★床面積 146.58㎡
- ★構造 鉄骨造2階建
- ★設計者 井上一則・空間工房 一級建築士事務所
- ★施工者 直営工事
- ★設計趣旨

家族所有の既存の倉庫を住宅へリノベーション（用途変更・増減築・大模改修工事）したものです。1階は玄関と念願のインナーガレージとして、車4台分とDIY用の作業スペースを確保することができました。元が鉄骨造の倉庫だった為、住宅への用途変更には法的にも機能的にもかなりの工夫が必要でした。外観は、屋根と外壁をスレート葺きから板金（ガルバリウム鋼板）へとスイッチすることで、変貌をさせるには効果はあったかと思います。既存の切妻屋根をBOX状の建物に見せたかった為に、前面の壁面を立ち上げる事で解決。前面道路からの道路斜線制限もあった為、増築部の屋根を下屋にする事で渋々自分を納得させました。

インナーガレージは玄関ホールと奥の予備室からガラスを通して、愛車達を眺められるレイアウトとし、家族として迎える事ができるようになりました。

2階へはスケルトン階段を昇ると、踊場を介してLDKへと繋がります。LDKは高天井で一括りとし、開放感を優先させました。その周りを寝室と水回りを配する事で、動線を極力短くなるようなレイアウトにしました。

「ローコスト」かつ「夢と変貌」を目的として、構想から10年、やっと個人の基地（BASE CAMP I's）として誕生させる事ができ、「終の棲家」として歩み始める事ができます。





My Best Book



マイベストブック

『もしも、アインシュタインが間違っていたら?』

編集：ブライアン・クレグ

諸言：ジム・アル＝カリーリ

翻訳：広瀬 静

中津支部：中岩 学

マイ・ベスト・ブックとの事ですが、ここ数年で読んだ本の中で印象に残っているものを紹介します。その本とは、「もしも、アインシュタインが間違っていたら?」です。この本は、量子物理学、相対性理論とタイムトラベル、素粒子物理学、宇宙論、天体物理学、古典物理学、テクノロジーの7つ分野に関する疑問を「もしも、……だったら?」という興味深い科学の疑問に専門家が回答し解説するという内容です。その「疑問と回答」=トピックが合計50個紹介されています。

どう言ったトピックがあるか例を挙げると、量子物理学編では「もしも、シュレーティンガーの猫が死んでしまったら?」、相対性理論とタイムトラベル編では「もしも、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』のタイムマシンがあったら?」、天体物理学編では「もしも、月に潮汐がなかったら?」や「もしも、スプーン1杯で重さ1億トンの物質があったら?」といった日常ではあまり想像しないが言われてみると「どうなるの?」と感じてしまうようなトピックがいくつかあります。

科学系の本といえば、建築系の本と同様に難しい言葉が並んで内容を理解することが容易ではない本が多いイメージですが、この本は一般向けに書かれていて、本の構成は1トピックが見開き2ページとなっています。左のページに文章、右のページにイラストという構成で、左のページの文章には「もっと教えて」「こんな情報も」「関連項目」といった解説も充実し、読み易い文章となっています。

今回、マイ・ベスト・ブックで紹介するという事で、数年ぶりに本を読み直しました。トピックの中にはトピックタイトルの「もしも、……だったら?」の回答になっていないように感じられるものもありましたが、日常では考えもしないトピックばかりです。それら科学や宇宙の不思議が、日常を暫し忘れる機会を与えてくれました。



『スノーピーク「好きなことだけ!」を仕事にする経営』

著者：山井 太

日田支部：後藤 慎太郎

好きな事を仕事に出来てますか?…って聞くまでもなく皆さんは今の仕事が好きで仕事をなされてますよね。羨ましい限りです。私はそうではない方として(苦笑)そんな思いを脱却したくて手にした本がこの本です。まあ山登りが趣味なのでスノーピークが嫌いではないのもあったかも知れません。

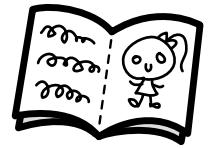
この本にはスノーピークの歴史、経営方針や戦略、仕事環境等が書かれています。ユーザーと焚火を囲み直接語り合いキャンプを楽しんだり、社員はアウトドアやスノーピーク製品が好きな人ばかりだそう。本社も広大なキャンプフィールド内に併設されてて、仕事終わりは頻繁キャンプを楽しんでるそうです。遊びの一線上に仕事がある。そういう感じですよ。でも好きであるがため販売員は製品の長所短所を購入者・ユーザーに自分の言葉で言えるよう座学研修や厳しい実技指導を行ってるそうです。製品は他のアウトドアメーカーより結構高価。でもそれには理由があり強固に製造しているのもあるけど「製品全て永久保証」というのもその一つと想着てる。無料、有償あるけど不具合があったら修理してくれる。永久だ。廃盤製品だから部品が無く修理出来ないとかない。…多分(汗)永久保証とはそういう事と想着てる(笑)製品開発も社員がアウトドア好き愛好者なので自らもユーザーという立場、目線で開発を心がけているそうなので多くのユーザーに共感を持ってるのだらうと思いました。

『好きなことだけ』仕事にする、それを基準に広げ方向性を決めて行く事は難しいけど、それは大事な事だと思いました。この本を読んで今の仕事が好きになったかは想像にお任せします。(笑)





My Best Book

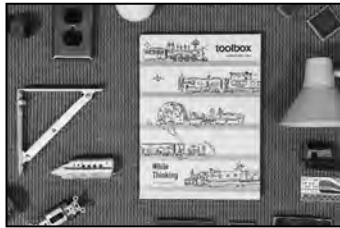


マイベストブック

『tool boxのカタログ』、
『ARTWORKSTUDIOのカタログ』

玖珠支部 衛藤 政春

トレンドか何か頭の良い人の考えることは知らんけど、もう最近のシンプルすぎる家具家電も、全部白い建物も、商品化した建物も、いい加減見すぎて飽きた！全方向飽きた！！というそのあなたにおすすめるのが、今回紹介する tool box のカタログです。船舶寢室用のドアノブや（くそカッコいい）、どこかに使えそうな足場板等、皆さんの妄想を形にできるような、ふざけたカタログです。このカタログがあれば秘密基地が作れます。当時からR不動産の信者だったこともあり、毎年の楽しみはこのカタログと言っても過言ではありません。



なんと、無料です。

→<https://www.rtoolbox.jp/stories/editorsboard/77525/>

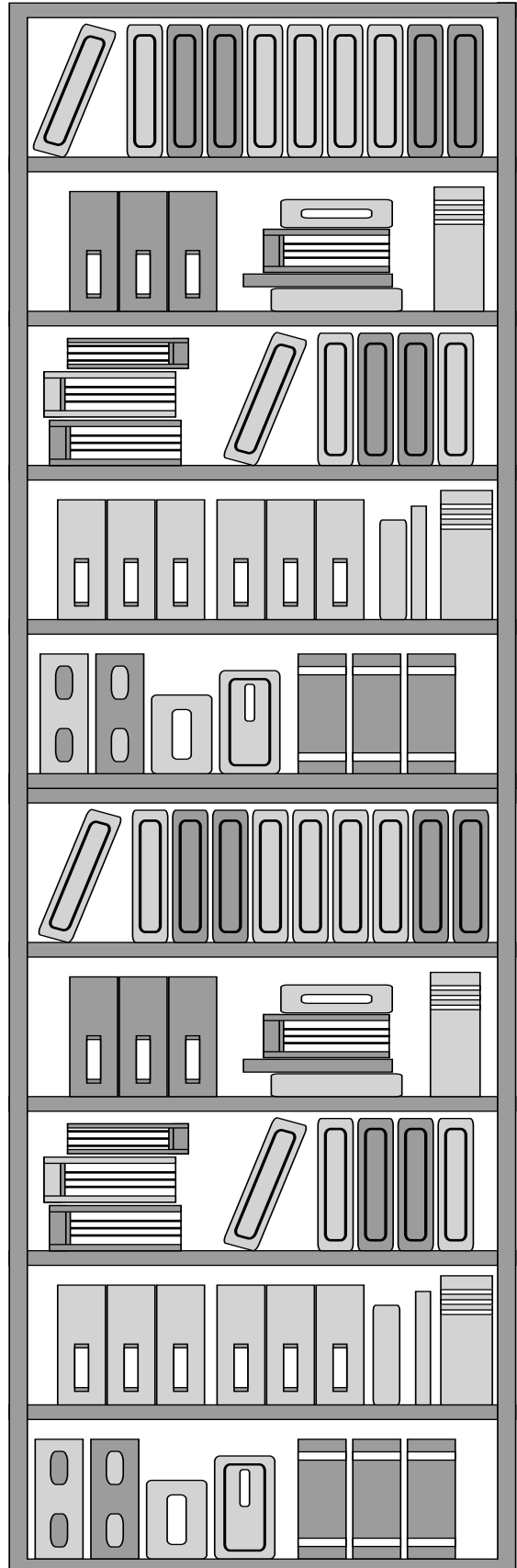


そして次に、神戸の照明メーカー、ARTWORKSTUDIOのカタログです。商品が昔に比べてシンプル路線になってきたような気がしますが、気のせいでしょう。リサイクルショップ巡りが趣味の僕にとって、ARTWORKSTUDIOの照明器具が500円とかでころがっているのを見つけた時の嬉しさといったらないですね。この会社の照明器具は20年前くらいにあった神戸の高架下のヴィンテージ家具屋のイメージです（どんなイメージや）。無駄に照明器具をいっぱい持っている原因がこの会社と言っても過言ではないです。



ただ、このカタログ、カタログのくせに（！？？）2000円くらいします。

<https://www.artworkstudio.co.jp/fs/awsproducts/catalog/ac-2023>



近況トピックス

大分支部 淵 智子

編集委員の日高さんより近況報告の執筆を依頼され、気軽に引き受けたものの、締め切り間近までどのような事を書けばいいのやら、と何も思いつかず、案の定引き受けたことに軽く後悔しつつも、なんとかネタを振り絞って趣味の一つについて書いてみようと思います。

私は旅に行くことが好きです。大分支部では月末に「事務局ニュース」が届くのですが、その中で松崎さん（伝建地区の旅）と山崎さん（秘境探訪）の連載が楽しみで、その記事の場所をグーグルマップで調べて行った気分になり、架空の旅を楽しんでいます。コロナ禍もあって、中々実際に旅に出ることができず、その間は前述のようにグーグルマップや地図アプリで架空旅を楽しんでいましたが、コロナ禍も明け、また最近では九州ブロック青年女性建築士協議会の会議や全国女性建築士連絡協議会関連のイベント参加、また他県での仕事の機会が増え、その出掛け事に合わせて見たい建築や展示、そして温泉やご当地のお酒を楽しんでいます。今回は私の実際の旅の様子を少しご紹介したいと思います。

「青森・岩手の旅(2022年)」

学生時代の友人らと岩手で集まることになり、その際に「青森（青森市、十和田市、八戸市）、岩手（九戸村、葛巻町、盛岡市、花巻市）」へ行ってきました。大分空港から伊丹経由で青森空港へ。レンタカーを借りて青森県立美術館&三内丸山遺跡からスタートし、十和田市で十和田市現代美術館、八戸市で八戸市美術館を見学。食事はお寿司屋で食べたホヤの刺身の美味しさに感動。



青森市：三内丸山遺跡

そして青森市から十和田市への道中にある、友人らのおすすめの温泉「酸ヶ湯温泉」に日帰り入浴したかったのですが、時間が厳しく素通りのみ。この経路は八甲田山の南側を走る国道394号線で、九州とは違った樹木（おそらくブナやトドマツ）が生い茂っており、その景色は新鮮で、車で走っているととても気分爽快でした（次回は八甲田ホテルに泊まりたい）。八戸市美術館では馬場のぼる展（11ぴきのねこの作者）が開催されており、展示も楽しみつつ、地方都市の美術館の在り方として大変興味深い建物を見学してきました。



八戸市：八戸市美術館

場所は岩手県へ。友人らが準備してくれた葛巻ワイン、赤武酒造の赤武、そして岩手の食材での料理が美味しく飲みすぎのかなりの二日酔い。友人らとの再会を楽しんだ後は、盛岡駅近くの北上川沿いに新しくできた「木伏（きっぷし）」へ。民間と行政が協同して作り上げた新たなエリア。コンテナを利用してカフェやアクティビティも楽しめる場所が集まっており、日中から夜まで人が多く滞在していて、雰囲気良くお勧めできる場所です。遠野のジンギスカンが食べられるお店もあります。



盛岡市：木伏

岩手と言えば、ベアレン！地ビール・クラフトビールが好きな方には聞き覚えがあるかもしれませんが、盛岡市に醸造所があるブルワリーです。材木町にあるビアパブで生ビールを飲みたかったのですが、残念ながらお休み…そして近くの光原社（宮沢賢治好きの方はご存じかも）もコロナ感染で臨時休業…とても残念でしたが、気を取り直して紺屋町や岩手銀行赤レンガ館（辰野金吾）を堪能、そして盛岡冷麺を食べて帰路へ（盛岡冷麺はびよんぴよん舎推し）。花巻温泉にも行きたかったのですが、時間が足りずに旅程に組み込めず。鉛温泉・大沢温泉、遠野から陸前高田への旅をしたいので友人に企画を託して別れました。

旅と言えばお土産選びも楽しみの一つ。青森では駅の近くにA-FACTORYという洗練された土産物店があり、りんご関係のスイーツ・シールド、ねぶたのフェイスパック、日本酒、そして郷土玩具を購入（郷土玩具は大好きなので、できるだけ訪れた場所にちなんだものを買って帰るようにしています）。岩手ではベアレンビール＆日本酒、盛岡冷麺、じゅんさい等を購入。そのほかにも友人らがあれやこれやと持たせてくれて、行きの倍以上の荷物を持って、旅の疲れを気持ち良く感じつつ帰宅しました。このような感じで「建築・食＆酒・温泉（今回は無し）」のセットでの旅を楽しんでいます。



これまでに集めてきた郷土玩具などの一部

「次の旅の候補地は」

私は漫画：釣りキチ三平が好きなのですが、先月末まで開催されていた、秋田県横手市の増田まんが美術館「釣りキチ三平生誕50周年記念展」に行きそ

びれてしまいました。ファンとしてなんとも不覚。釣りキチ三平メインの秋田県横手市以外では、グラントワの内藤廣展や朝ドラ「らんまん」を見ていたこともあり高知県の牧野植物園をメインにした旅か、島根で行き逃した温泉地や石見銀山、岡山の旧閑谷学校、減多に行く機会の無さそうなまさかり半島と恐山、映画しあわせのパンのロケ地・洞爺湖でまったり旅（北海道に行ってみたい）、ゴースト・オブ・ツシマの聖地巡礼で長崎県対馬など。泊まってみたい宿は、近場は日奈久温泉の金波楼、雲仙観光ホテル、球磨川温泉の鶴之湯旅館。九州以外は、倉敷アイビースクエア、ホテルニューアカオ、富士屋ホテル、ホテリ・アアルト、その他多数。私のグーグルマップは訪れたい場所のピンだらけです。他にも観光列車の旅や船旅もしたいので時間もお金も足りないのである程度絞らねばならず。



旅先のスーパーを覗くのも楽しみの一つ

行きたい場所の情報収集は、本やネットはもちろん参考にしますが、ネットの口コミはその背景がわかり難いのであまり参考にしません。知っている方の感想や意見が一番参考になりますので、是非「あそこ良かったよ」と教えて頂けたら嬉しいです。ひとまず今年行くことが決まっている、都城市（建築士の集い）と鹿児島市（全国大会）の情報を集めつつ、行きたい場所への思いを募らせ実現できるように目の前の仕事に頑張りたいと思います。みなさん、旅情報を是非交換しませんか。



マーボアの旅先日記 その20



顧問 井上正文

「東北地方の国宝建造物を巡って」

はじめに この「マーボアの旅先日記」も今回が<その20>ということで、20回を数えます。<その1>が掲載されたのが本誌No.113（2014年秋季号）ですからちょうど10年前です。今後、どのくらい執筆を継続できるかは定かではありませんが、全国各地の国宝建造物の紹介を軸として、しばらくは続けたいと思っております。今後とも本記事のお目通しのほど宜しくお願い致します。さて、全国に点在する国宝建造物を永年にわたり訪ね歩いているわけですが、「国宝建造物巡り」だけを目的に全国を歩き回っているわけでもありません。永年の大学教員生活の中で、各種学会の全国大会は言うに及ばず、建築士会全国大会や建築士会の全国ブロックごとの「建築士の集い」など、各種イベント参加のついでに「国宝建造物巡り」もやってきました。

今回の「東北地方版」では、東北ブロック内の「建築士会全国大会参加」のついでに国宝建造物巡りが多かった印象です。

東北地方には、下記の5カ所の国宝建造物スポットがあります。広い東北地方のわりには、意外に少ない印象です。①中尊寺金色堂（岩手県）、②瑞巖寺本堂・庫裏（宮城県）、③大崎八幡宮本殿・拝殿他（宮城県）、④羽黒山・五重塔（山形県）、⑤白水阿弥陀堂（福島県）です。このうち⑤の白水阿弥陀堂（福島県いわき市）は、本誌No.124号の<その12>でも紹介していますので、本稿では省きます。ちなみに過去の本誌内容は、大分県建築士会ホームページ内でどなたでもご覧頂けます。

岩手県の国宝建造物

①から順に紹介していきましょう。

このお堂は、どなたもご存知の金箔が張られたきらびやかなもので、平安末期（1124年）の創建。奥州藤原氏の仏教文化の栄華を偲ばせる建物です。三大阿弥陀堂のひとつにも上げられています。世界遺産にも認定され、日本最北の国宝建造物です。三大阿弥陀堂の話は⑤の白水阿弥陀堂の記述<その12>

参照>でも触れていますので、ご覧下さい。大分・国東にある国宝「富貴寺」にも大いに関係する話です。中尊寺金色堂は鞘堂内にあり、写真撮影禁止ですので、ここでは鞘堂外観（写真1参照）をお見せしましょう。

「五月雨の降りのこしてや光堂」（芭蕉）



写真1 平泉金色堂・鞘堂

ここで、ご当地の岩手県にちなんだお話を少ししておきます。岩手県建築士会と我が大分県建築士会は、「姉妹建築士会」同士ということをご存知でしょうか？その姉妹建築士会の締結調印も1984年（昭和59年）に当時の村松会長と岩手県建築士会の久慈会長との間で行われています。岩手県と大分県は遠く南北には離れてはいますが、文化面・歴史面での繋がりも種々あつてのことと聞いております。建築士会全国大会の開催の折、何らかの形で交流が行われてきています。

宮城県の国宝建造物

まずは、瑞巖寺の紹介です。本堂と庫裏が国宝指定です。本堂は江戸時代の初期（1609年）の創建で、当時の藩主「伊達政宗」の建立とか。桃山様式で、仙台藩お抱え絵師である狩野左京、長谷川等胤らの襖絵障壁画が鑑賞できます。庫裏（写真2参照）は禅宗寺院の台所で、「日本三大庫裏」（瑞巖寺庫裏・妙心寺庫裏・妙法院庫裏）のひとつです。

次は、仙台市内にある「大崎八幡宮（本殿）」（写真3参照）です。建立は江戸初期の1607年で、藩主「伊達政宗」の命によるものです。日光東照宮など

と同じ「権現造」形式です。日光東照宮よりも建立は早く、大崎八幡宮の「権現造」が日光東照宮に反映されているとか。



写真2 瑞巖寺・庫裏



写真3 大崎八幡宮

山形県の国宝建造物

羽黒山五重塔（写真4参照）です。



写真4 羽黒山五重塔

鶴岡市羽黒町にあり、塔の高さ29.2m。元々は、平安時代に「平将門」の建立と伝えられ、南北朝時代の1372年に現在の塔が建立されたとのこと。明治の神仏分離以前は、近世までは出羽三所大権現（神仏習合）のひとつであり、羽黒権現の塔として、塔内に聖観音、軍荼利明王、妙見菩薩を安置していました。

東北地方は、大分からは遠い地ではありますが、美味しいもの、美味しい日本酒満載の土地柄ですので、国宝建造物と併せて堪能の旅に出られてはいかがでしょうか。

事務局だより

■委員会活動報告及び予定

事業委員会

<第1回>

令和5年11月9日(木) コンパルホール

議題

1. 文化活動部規則の制定(内規)について
2. 建築士の日関連事業
3. 親睦事業

調査研究・歴史的建造物合同委員会

<第1回>

令和6年1月23日(火) コンパルホール

議題

1. 「おおいたの職人調査リスト」について
2. ヘリテージマネージャー養成研修について
3. 気候風土適応住宅大分県版の基準策定状況
4. 旧平田郵便局(中津市)についてのご相談
5. フォーラム「『襟江亭』を未来につなぐ」
6. 「全国登録有形文化財全国所有者の会」について
7. その他お知らせ(周知)

■事務局からのお知らせ

案内1

「建築士定期講習」について

令和6年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内いたします。(大分で開催予定です)建築士事務所所属の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

案内2

「監理技術者講習」の開催について

(監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術

者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

【講習会日程】

○「毎月第2水曜日」に開催します。

※5月、12月、3月は除きます。

○時間：8:50~16:40〔受付8:30開始〕

※8:45~8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会場：(公社)大分県建築士会会議室

○形式：DVD講習

○定員：各回3名程度

○受講料：WEB申込 9,500円/

窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは、日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

案内3

「既存住宅状況調査技術者講習(更新・新規)」の開催について

改正宅建法の重要事項説明の既存住宅状況調査するには、この講習会を修了し、登録されることが必要です。

令和6年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内いたします。

※申込方法等詳細は、(公財)日本建築士会連合会のHPをご覧ください。WEBからでも申し込みができますので、そちらもご利用ください。

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

・インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

詳しくは、連合会のホームページをご覧ください。

報告1

「第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議」について

令和5年9月29日(金)に、アートホテル大分におい

て本年度第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議が開催されました。

次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. インボイス制度について（各支部公益事業関係など）
2. 本年度公益目的事業（各支部・委員会）の説明
3. 昨年度の公益事業報告
4. 各委員会の開催状況及び事業計画について
5. 文化活動部規則（内規）案について
6. 協定に基づく防災委員、行政担当者の相互連絡と防災ボランティアNWへの参画について
7. よろず建築相談会の実施報告
8. 「会員所属事業所紹介、検索サイト」について
9. 報告事項・今後の主な行事等

報告2

「第2回理事会」について

令和5年12月6日(水)に、レンブラントホテルにおいて第2回理事会が開催され次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 令和5年度事業執行状況（9月末）
2. 令和5年度収支予算執行状況について（9月末）
3. 令和5年度役員改選に関する基本方針について
4. 代表理事及び業務執行理事の活動報告について
5. 文化活動部規則（案）について
6. 委員会活動の活性化について
7. 令和6年度通常総会日程について
8. 会員会費規約の改定について
9. その他について（協議・報告）

報告3

「おおいた建築セミナーin竹田」について

令和5年12月2日（土）に「第8回おおいた建築セミナー in 竹田」が竹田市城下町交流プラザで開催されました。70名の参加者がありました。

13時30分に式典が始まり、幸会長の挨拶の後、株式会社地域科学研究所の西田稔彦氏から、竹田市を始めとする「エリアリノベーション」の基調講演があり、引き続き、西田稔彦氏、伊藤憲吾氏、河野功寛氏による「エリアリノベーションクロストーク」と

繋がり、空家等の有効な空間資源をリノベーションして地域の活性化に繋げて行く活動等が紹介されました。

分科会は、竹田市中心部のまち歩きを、A：城下町コース、B：西田さんとまち歩きコース、C：竹田建築散策フリーコースに分かれて行なわれ、天候にも恵まれて、紅葉する周辺を背景に、武家屋敷通りなどの昔の面影を多く残す歴史ある「城下町」として伝統と歴史を感じる街を堪能しました。

さらに、親睦会は、18時から「友修」で行われ、美味しい料理に各支部から差し入れの「酒・肴」も加わり、フラダンスの余興もあって、楽しく親交を深めました。再会を確認しながら21時頃に終了して、二次会に向かう方、宿に向かう方、帰路に着く方等々に散開しました。

報告4

「建築甲子園」の審査結果について

「建築甲子園」は、工業高校、高等学校、工業高専（3年生まで）を対象とした（公社）日本建築士会連合会主催の全国設計競技です。今年度の課題は「地域のくらしーまちに住む・地域に開くすまい」です。令和5年10月21日(土)に大分県立総合文化センター iichikoで大分県大会選考会が開催され、応募のあった2校、3作品の中から、日田林工高校の2年生穴井享汰君、武内一紗君の「地域をつなぐ家・・・涼める川端・・・」が最優秀賞に選ばれ、全国大会へ進みました。

応募のあった都道府県選出の37作品の中から、審査が行われ、「奨励賞」を受賞しました。

1月31日（水）午後に幸会長、松崎局長が日田林工高校を訪問し、校長室において監督（担当教員）ならびに、野村日田支部長、日田支部の久恒アドバイザーが同席の下に伝達式が行われ、表彰状と賞金、副賞が手渡されました。おめでとうございます!!

報告5

「建築物グリーン化促進事業」について

大分県からの委託を受け、環境に配慮した建築物の普及を図るため「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」で検討を重ねてきました。

令和5年度に、以下の外部に向けた会議・研修が実

施されました。

- 第1回 関係団体ネットワーク会議
令和5年7月4日(火) 14:00～
コンパルホール 多目的ホール
- 第1回 技術者向け研修
令和5年10月13日(金) 13:30～
大分銀行 宗麟館 会議室
- 第1回 県民向けフォーラム
令和5年11月11日(土) 13:30～
別府市国際コンベンションセンター
(ビーコンプラザ) 中会議室
- 第2回 関係団体ネットワーク会議
令和5年12月19日(火) 14:00～
コンパルホール 多目的ホール
- 第2回 技術者向け研修
令和6年1月26日(金) 13:30～
大分センチュリーホテル 桜の間
- 第2回 県民向けフォーラム
令和6年2月10日(土) 13:30～
臼杵市中央公民館 ホール

※上記会議・研修準備及び受託業務対応の為、「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」を令和5年4月20日(木)から令和6年2月29日(木)まで合計12回開催しました。

並行して「大分版省エネ住宅設計指針ワーキンググループ」も合計10回開催しました。

※来年度も実施しますので、多数の参加をお願いします。

※「大分県版気候風土適応住宅基準」素案策定の為、大分県建築士事務所協会及び建築家協会大分支部からも参加して頂き6名の委員会を結成し、大分県建築住宅課と本年度、5回の検討会議を開催しました。

報告6

「能登半島地震災害義援金」の募金箱の設置について
年明け早々に発生した能登半島地震は悲惨な状況です。早速、大分県建築士会も「能登半島地震災害義援金」の募金箱を事務局に設置しました。ご協力いただいた救援金は、大分市(福祉保健課)を通じて日本赤十字社へ送られ、被災地県に配分されます。1月は5,055円、2月は3,034円の救援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。
引続きお心尽くしのご協力をお願いします。

会務行事案内 (令和6年度)

- 5月24日(金) 第1回理事会
- 6月14日(金) 総会・永年会員表彰式・懇親会
- 6月22日(土) 九州ブロック「建築士の集い」都城大会
- 10月25日(金) 全国大会「鹿児島大会」



情報広報委員

委員長	〈豊後大野〉	高野 幸雄
委員	〈高田〉	後藤 憲二
	〈別府〉	山本 健太郎
	〈大分〉	後藤 悟
	〈大分〉	宮崎 隆博
	〈大分〉	竹宮 浩一郎
	〈大分〉	和田 恵利子
	〈佐伯〉	富松 誠
	〈日田〉	佐藤 敏孝
	〈中津〉	日高 雄介

編集部員

担当常務理事	〈豊後大野〉	高野 幸雄
部長	〈高田〉	後藤 憲二
副部長	〈中津〉	日高 雄介
部員	〈大分〉	高橋 大介
	〈大分〉	樋田 瑛
	〈別府〉	小山 秀輝
	〈臼杵〉	松井 健児
	〈津久見〉	高瀬 幸伸
	〈佐伯〉	長田 孝治
	〈佐賀関〉	井上 雅順
	〈豊後大野〉	工藤 健治
	〈竹田〉	江上 禎一
	〈玖珠〉	瀧石 雅一
	〈日田〉	熊谷 高則
	〈宇佐〉	古市 憲司

建築士おおいた

2024.3 No. 132

(非売品)

令和6年3月27日 印刷

令和6年3月29日 発行

編集／発行所

公益社団法人 大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 AIG大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0617	豊後高田市高田 2145 番地 1 (株)中村建材店内	0978-22-2307
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 AIG 大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0063	臼杵市大字望月 1029-11 藤澤建築設計内	0972-63-7589
津久見	879-2682	津久見市大字網代 5798-2	090-9076-7189
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0444	宇佐市大字石田 13 番地の 11 (株)さとう不動産設計事務所内	0978-25-6766
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会

2024 NO 132